

エアコン未設置小学校における猛暑対策について

1 整備計画

猛暑の夏が続く中、園児及び児童・生徒の健康や良好な学習環境を確保するため、学校施設のエアコン整備を計画的に進めており、平成30年度及び平成31年度の2か年で全ての小学校の普通教室等に整備し、それぞれ整備が完了した後の6月（平成31年及び平成32年）から使用を開始する予定である。

なお、この計画では、学校運営への影響、国庫補助金や工事請負期間の確保等の要因を考慮し、単年度での実施が困難なことから、低学年児童等の割合の高い小学校を優先し、2か年に分割してエアコンを整備することとしている。

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
幼稚園	空調設置(22園)	使用開始(22園)		
小学校		整備工事(15校)	使用開始(15校) 整備工事(15校)	使用開始(15校)
中学校	整備工事(15校)	使用開始(15校)		

2 計画見直しの検討

本年夏が記録的な猛暑であったことから、市民や市議会からエアコンの早期設置や猛暑対策についての意見が寄せられている。

また、国においても、昨今の猛暑を踏まえ、エアコンの早期設置に向け取り組む方針であることから、本市においても、これらの動向を踏まえ、計画の前倒しや工期の短縮等を検討中である。

3 小学校からの意見

エアコン未設置の状況で平成31年夏を迎えた場合においても、熱中症予防も含め安全性を考慮した教育活動を展開するための方策について、全ての小学校にアンケート調査を行ったところ、寄せられた主な意見は次のとおりである。

- (1) エアコン設置済の会議室・特別教室（パソコン室等）等の有効活用
- (2) 首を冷やすタオルや保冷剤の使用
- (3) 可動式のスポットクーラーの設置
- (4) 授業中の積極的な水分補給
- (5) 扇風機の増設

4 課題と今後の対応

計画の前倒しを行った場合においても、整備工事は学校休業日である夏休み期間が中心となることから、各小学校から寄せられた上記意見等を踏まえ、エアコン設置までの猛暑対策を検討しているところである。

ただし、電源工事が完了していない段階では全教室へのスポットクーラー設置は不可能であることから、限定的なレンタル方式等実行性のある対策を検討する必要があると考えている。